

環境調査結果のお知らせ

平成26年4月3日午前11時から宇佐漁協周辺の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

調査水域の環境は、水温17～18℃で塩分32～33、溶存酸素量8～9mg/l、透明度は3～4mでした。有害種のシュードシャットネラ・ベルクローサの存在が認められました。被害が想定される細胞密度を超えている水域もあるため、慎重な養殖管理をお願いします。

水温と塩分(表1・2)

水温は17.4～17.7℃、塩分は31.7～33.3でした。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は8.0～9.2mg/lでした。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.1～3.8mで、漁協前に薄い着色域が広がっていました。漁場もごく薄く着色が認められました。

検鏡の結果、有害種のシュードシャットネラ・ベルクローサが最高1,060cells/ml確認され、被害が想定される細胞密度を超えていました。本種は魚毒性が非常に強く、水試小割ではカンパチとマダイで被害が拡大しております。餌止めを行うなど、慎重な養殖管理をお願いします。その他、有害種のヘテロシグマ・アカシオも確認されています。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ(魚類のへい死) : 500～1,000cells/ml
- ・ヘテロシグマ・アカシオ(魚類のへい死) : 10,000～50,000cells/ml

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	宇佐漁協前	漁場1	漁場2	漁場平均 ※
0m	17.5	17.7	17.5	17.6
2m	17.4	17.6	17.5	17.6
5m	-	17.5	17.5	17.5
B-1m	17.4	17.5	17.6	17.5

表2 塩分

調査地点	宇佐漁協前	漁場1	漁場2	漁場平均 ※
0m	31.7	32.7	32.3	32.5
2m	31.8	32.8	32.4	32.6
5m	-	33.1	32.7	32.9
B-1m	32.0	33.1	33.3	33.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	宇佐漁協前	漁場1	漁場2	漁場平均 ※
0m	9.2	8.2	8.5	8.4
2m	9.1	8.2	8.5	8.4
5m	-	8.1	8.3	8.2
B-1m	8.9	8.1	8.0	8.0

表4 水深・透明度(m)

調査地点	宇佐漁協前	漁場1	漁場2
水深	8.1	7.1	10.0
透明度	3.1	3.9	3.8

表5 プランクトン(cells/ml)

		シュードシャットネラ・ ベルクローサ	ヘテロシグマ・ アカシオ
宇佐漁協前	0m	1,060	80
	2m	800	140
	5m	340	40
漁場1	0m	210	30
	2m	180	50
	5m	110	30
漁場2	0m	590	130
	2m	410	90
	5m	250	110